『政治家の仕事とは』

～医療的ケア児と「永田町子ども未来会議」

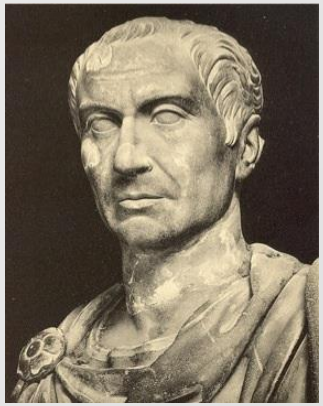
2016. 10. 15　奈良女子大学付属中等教育学校

衆議院議員　荒井　聰

はじめに：政治とはコミュニケーション

【偉大なる政治家】

- 欧米：ユリウス・カエサル（ジュリアス・シーザー）



- 日本：聖徳太子

自己紹介：私の仕事略史（政治家歴23年）

終戦1年後
1946年生まれ
物がない子ども時代

20代
～40代

行政官時代
農水省技官
スリランカ大使館書記官
北海道知事室長

Satoshi Arai

農水省出身

40代終盤
～60代半ば

いざ政治の道へ
『二大政党制、政権交代！』
細川政権（93）、民主党結党（98）、民由合併（03）、
民主党政権誕生（09）、
東日本大震災と福島原発事故（11）

The Democratic Party of Japan 民主党

現在70歳

政権運営の経験と失敗の教訓
役員室長（党ガバナンス）、野党外交
党改革創生本部、5年後10年後を託す人材づくり
・・・再政権交代な政党へ

The Democratic Party 民進党

どうして私が政治家になったのか①

最初の転機

スリランカ大使館で外交官勤務
(30代前半;ODA開発援助担当)

- 分離独立直後の内戦状態
- 植民地化の影響、バラマキと財政悪化
  ･･･なぜ発展が阻害されたか？
  ☞政治の重要性:政治とは、選択と集中。

- 伝説の外交官、千葉一夫大使の薫陶
  『外交は内政の延長上』

どうして私が政治家になったのか②

二度目の転機

北海道知事室長として出向・・・・40代半ば

横路孝弘（後の衆議院議長）の道政

- 知事室長はポリティカル・アポインティ（政治任用）
- 地方自治の限界を痛感
- 「地方を変えるには国のシステム根幹の変革から」
  ・・・地方分権・自主財源改革・制度運用面など

☞1993年日本新党より出馬、衆議院議員初当選
霞が関官僚として、野党から立候補した第一号。

☞新党ブームもあり、非自民による細川連立政権誕生

政治とは？　政治家・政党とは何か？

二度の政権交代と挫折、紆余曲折を経て、
「政治」とは・・・そして政治家・政党とは何か？

・政治とは、現実そのものである。
・政治とは、高い理念を抱き続けながら、現実と折り合いをつけ、多様な意見の妥協点を見出していく地道な作業。
・「無私」の精神
☞私の政治の師匠の一人であり、歴代総理の指南役でもあった四元義隆師の言葉。

「小さな政府」VS「大きな政府」論争

資本主義

小さな政府	大きな政府
デフレ	貧困の拡大
市場の機能化	需要と雇用の拡大
ハイエク、フリードマン	ケインズ
新自由主義	ニューディール政策
小さな政府	大きな政府

負担と給付のバランス≒「政権選択」の根幹

【政策的系図】

小さな政府派

・サッチャー
・レーガン
・中曽根康弘
etc

小泉政権以来の自民党政治

大きな政府派

・ルーズベルト
・吉田茂
・田中角栄
etc

民進党政治

政治家とは法律をつくる仕事

【日本の法律体系】

憲法とは、国家権力を抑制する「規範」

改正要件
国会議員の2/3以上発議
（米・独・仏と同様）
国民投票で過半数以上

憲法
最高法規

憲法の枠内で制定

一般法：代表例は民法・刑法・商法など

唯一の立法機関である国会が制定

政府が執行

政令・省令・条例など
（上位の法律の範囲内で定めるもの）

行政府や地方自治体が決定

貧困格差の拡大・再生産について

【日本社会の現状】 6人に1人が貧困の社会

- 生活保護163.4万世帯、約214.7万人（2016年6月）
- 子どもの貧困率16.3%、ひとり親世帯の貧困率54.6%
- 子どもの貧困格差ランキング：OECD中ワースト8位
- 非正規雇用者4割、約2,000万人
- 安倍政権の大企業優遇（法人税減税）・格差拡大策

☞労働法制改悪（派遣労働の無期限・全面解禁）

【荒井の信念】

■政治とは、弱者に光をあてるもの。

■教育機会とチャンスの平等が保障されない社会は活力を失う（給付型奨学金創設が重要）

個別の政策から政治を考える

【医療的ケア児とは何か】

■TBS「報道特集」 2016.9.17放送
特集“医療的ケア児”サポートのあり方より

超党派「永田町子ども未来会議」

【勉強会発足までの経緯】

・2015年2月障害児保育園へレンを視察。「東京都で医療的ケアが必要な重症心身障害児の受入れ可能な唯一の保育園である」という事実を認識する。多方面にわたる制度の障壁が存在する事実に、時代に応じた新たな制度設計や既存制度の改正、拡充の必要性を痛感。

・野田聖子議員（自民）と協議の上、自民・公明・民主（当時）による超党派勉強会の発足を企図。

・厚労省 村木厚子次官（当時）、文科省前川喜平審議官に趣旨を説明。各省より主要メンバーの推薦を受け、国会議員と3府省（内閣、厚労、文科）及び関連するNPOのオピニオンリーダー、在宅小児科医らで合同勉強会発足。

超党派「永田町子ども未来会議」

【これまでの主な成果】

1）**診療報酬改定**：今年4月に実施された診療報酬では、全体としてマイナス改定基調の中で、小児在宅医や小児がん拠点病院等、子どもの医療分野に関する診療報酬を手厚くプラス改定。

2）**看護師配置定員数を3倍増　330人→1,000人へ**／平成28年度文科省予算事業
⇒公立小中学校・特別支援学校への看護師配置予算を大幅拡充。学校に常勤看護師が増えれば、在宅の訪問教育しか受けられなかった医療的ケア児が通学できる機会が増えると期待されています。

3）**改正障害者総合支援法が第190回通常国会で成立**
⇒「医療的ケア児」が、法律案で初めて「人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児」と定義されました。必要な支援が盛り込まれた障害者総合支援改正法案がこの第190回通常国会に提出され、2016年5月25日に参議院本会議で可決成立。
「医療的ケア児が適切な支援を受けられるよう、自治体において障害児福祉計画を策定するものとする」という努力義務規定の条文に関しては、公布日に即日施行済み（異例の扱い）。

超党派「永田町子ども未来会議」

【各党の国会議員メンバー】

【自民党】

衆議院議員　野田　聖子　　※女性総理候補、医療的ケア児の母
衆議院議員　宮川　典子　　※熱血教師から政界へ
衆議院議員　木村　弥生　　※看護師・看護協会から政界へ

【公明党】

衆議院議員　高木　美智代　※障害福祉のプロ、家族に障害者
参議院議員　山本　博司　　※長女が障害児、徹底した現場主義

【民進党】

衆議院議員　細野　豪志　　※自らの障害児が亡くなった経験
衆議院議員　山尾　志桜里　※党の女性ホープ
衆議員議員　荒井　聰　　※当勉強会の仕掛け人、学校理事長

■主要メンバー一覧、開催履歴などは別紙A4（縦書き）を参照